

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の人格を尊重し、入居者の皆さんが家庭で生活されているのと、同じ状態でいられるよう努めております。	介護計画を作成することにより、その方にあった適切なサービスの提供をします
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者の皆さんが家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごせるよう健康状態にも配慮し、見守り支援しております	食事・入浴・排泄等の、日常生活の機能訓練を行うことにより、安心した生活が送れるよう、見守り支援しております
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	信頼関係を築いて当ホームの敬老会等に出席して頂いています	今後も信頼関係を大切に行事への参加も継続していただけるよう関係作りに努めていきたい
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている	近所の方が畑で採れた野菜があると、当ホームへ持ってきて下さり散歩時には、近所の教会に行きトイレを借りたりおやつ等を頂いたりしています	ゴミ出しや回覧板を渡すときも、日頃から入居者と一緒に、行う事により近所の方ともコミュニケーションも、とりやすくなりました
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会には近所の方にも参加いただき入居者、家族も交え楽しんで頂いています。クリスマスには教会の方が出向きボランティアをして下さっています。又月1回はハーモニカ演奏のボランティアの方が来て下さっています	今後も地域の方々との交流を深めていけるよう、地域の行事等にも参加していきたいと思っております

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方が見学等にいらした際に、自宅で高齢者を抱えている方または現在自宅で介護の困っている方の、相談にのっております		入所とは、別に困ったことがあったら何時でも相談に気軽においで下さるように伝えています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎朝のミーティング実施、以前は記録が無かったが前回指導を頂き早々に記録を作り実施しております		外部評価を行う事により事業所だけでは気が付かない所を教えて頂き、出来ることから少しずつ改善している最中です
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族の方にもお願いしていますが、平日のため現状では思うように会議が出来ておりません		今後は民生委員の方や、町内の関係者の方にも出席いただきたいとお願いしております
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の相談員の受け入れ実施、また解らない事は直接相談を頂いております		今後も電話や直接窓口に出向き交流を図って行きます
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	本人、家族に相談を受けた場合は、必要な限り協力し支援しております		現在既に取り組んでおり今後も同様に支援していきます
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市から配布された、虐待防止テキストを元にどのような状態の、入居者であっても虐待してはならないと言うことを、常に話し合っています。またテキストを何時でも見られるような状態にしております		当ホームでは一度もなかったが、今後も発生しないよう努めて行きます

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所前に家族、本人に当ホームを見学していただき理解頂いております。入居時には十分な説明を行っています</p>		<p>納得するまで説明し本人、家族にも納得して頂いております。何時でも解らない時は相談をして頂いております</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情、相談箱を設けていると同時に、家族面会時には遠慮なく意見をいただけるよう、日頃から何でもざっくばらんに話し合えるよう努めております</p>		<p>入居時には苦情申し立てが市や国保連等に出来ることを伝えております</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族面会時には、必ず状況報告をしており面会に来られない方にも電話で近況をを報告しております</p>		<p>少しの変化においても家族連絡をとっております。金銭管理は、自分で管理できる方には管理してもらっております。管理の困難な方は、家族からお小遣いを預かり職員が管理しております</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>気軽に何でも話して下さるよう入所時に説明済みです。ホーム以外の苦情受付についても詳しく説明しております</p>		<p>苦情箱の設置、市・国保連等に申し立てが出来ることを伝えております</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回職員ミーティングを行っております。また日々の中で職員に何時でも意見がある時、また、ある人は管理者に報告、相談するよう伝えております</p>		<p>職員に十分意見交換をさせる時間を設け、良い提案は実施し反映しております</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>日勤時間帯に出来るだけ多く人員を確保しております</p>		<p>職員全員が入居者の状態を把握し家族の方との対応もスムーズ行っております</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の入れ替わりが少なく、入居者や家族の方々が安心されています</p>		<p>今までも家庭の事情でない限り離職された方はいないので、今後も職場の雰囲気、関係作りに努めて行きたいと思っております</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎朝ミーティング実施。質問・意見はその場で気軽に相談、話し合いをしています		実践者研修への参加に努めております
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会への参加時、同業他社と情報・意見交換を行っています		電話や文書などで連絡を取り合っております
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	何事にもオープンに話し合えるよう、日頃から職員に対してのコミュニケーションを図っております。勤務表作成時は、事前に勤務可能日数、可能日等にも配慮しております		毎日気持ちよく勤務してもらえるよう、何事にもオープンに話し合うよう努めております
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	全職員が気持ち良く働けるよう、各人が持ち味を生かして勤務できるよう努めております		各人の持ち味を生かしてホームの発展につながるよう、見守っており必要時には話し合いや、お願い事をしております
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	当ホームをよく見ていただき、お試し入所で実感してもらおうと共に、入居者さんともよく話し合っております		何時でも話しやすい雰囲気作りを心掛けています
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	当ホームをよく見ていただき、ご本人様の状況を教えてもらい、話し合い、不安なことや質問等は、遠慮なく言って頂いております		納得するまで何度でも話を伺い、安心していただいております

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームの支援が最適か否かよく見極め、否の場合は他のサービス利用をも含めて対応しております		相談を受けた際その方にあったサービスも頭に入れながら支援しております
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望があれば何度か訪問して、ホームに馴染んで頂きお試し入所を行った上で、入所にいたる機会を設けております		今後も入居者、家族と話し合いながら希望に添った支援をしてまいります
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の皆さんは人生の先輩でもあり、職員の知らない事など日々の中で学び得る事も多々あり、尊敬の念を持ちながら日々を接しております		その方の残存能力を十分に生かしながら、何を支援し配慮したらよいか念頭に入れております
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方がいらした時は、事務所にて近況報告をしております。また訪問されない場合は電話報告をしております		今後も全て相談して、何事においても報告していきます
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者、家族との関係が良くない方も第三者が間に入ることで、スムーズに話し合いが出来ております		関係改善のため、入居者・家族とのコミュニケーション作りに努めます
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者や、家族と以前関係のあった方も面会に来て下さったり、遠方の方からは電話が来たりしております。また、本人希望時には電話も自由に掛けて頂いております。		自由に面会や電話のやりとりをしていただいております。行事への参加もしていただけるよう努めます
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	当ホームは、2ユニットあるが顔なじみの入居者もいるので、ユニットを入居者に自由に行き来出来るようにしております		入居者どうしの関係は良い状態にあるので、今後もこの関係を築いていただけるよう見守ってまいります

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要事項は報告し、また、ご相談には積極的に対応するよう心がけております		今後も継続しその姿勢を維持してまいります
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者が、その方なりの生活が送れるよう本人に生活の意向を聞いたり、現状態を維持していけるよう話し合いをし、職員へ申し伝えております		日々の生活の中で、その方にあった支援をしていけるように見守り、変化等あった場合には報告、話し合い、申し送りの徹底に努めます
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は個々により違いますが、出来るだけその方に合った生活を維持していけるよう支援しております		家庭的な雰囲気の中で、ご自宅とさせていただけるよう、強制はせずその方の、ペースで自由にさせていただいております
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者一人一人に合った方法で、充実した過ごし方が出来るように見守り支援しております。強制はしないようにしております		家庭的な雰囲気の中でその方にあったお手伝い等を支援しております
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者への気付きや意見等、その方にあったプランに、役立てていけるよう生活記録を充実させたい。また細かな変化も記録するよう申し伝えております		その方に合った介護計画に努めております、またできる限りトイレでの排泄が出来るよう、失禁はあっても定期的な誘導を心がけております
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の変化を把握して、大きな変化があれば個々に見直しを行い、家族に状態報告しております。入居者の細かい情報等も職員に行き渡るよう、毎朝ミーティング時にも申し伝えております		大きな変化がなくとも、定期的に話し合い、計画の見直しをし、より良い方向に結びつくよう努めております

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を生活記録に記録しております		記録の記載方法も、充実したものになるよう、その方の計画に生かされるようよう申し伝えております
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の入居者に対する希望は、出来る限り行っております。訪問時の食事や宿泊も、希望があれば受け入れております		今後とも、家族・入居者の要望に沿えるよう協力してまいります
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	当ホームにボランティアの方たちが来て下さっております(チエロ、ハーモニカ、教会)		ボランティアの方々にお任せするのではなく、職員も一緒に参加し楽しみ、また勉強させていただいております
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族の希望で、別の有料施設へ移る方の施設選びを、地域の他のケアマネさんにも相談し、家族も交え話し合いをしています		今後も家族、他の地域のケアマネさんとも関係を図っていきたくと思っています
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	安心ケアセンターの職員に、相談にのってもらっております		今後も継続していきたくと思っています
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、ご家族に同行していただいております		通常の受診は今まで通り行っております

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が専門医です		その都度受診や指導を受けています
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設長が看護師です		個人個人の状態を日々把握しております
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族希望時には、入院して頂いております		具合が良くなった、回復時には当施設に帰って来てもらっております
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	具合悪化時の時などに、事前に家族とよく話し合い、方針を決めたあと主治医にも報告し、協力を得ています		主治医の協力が得られるため為、ご家族の希望を確認しながら、柔軟性を持って対応しております
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医が専門医であります。具合が悪化した時などに、ご家族と良く話し合い主治医にも報告し、協力を得ております		ご家族の中には、入院はさせられないとの事情で当施設で、主治医に往診していただく事もあります
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族の希望により、別の場所へ移る際は家族・本人と十分に話し合いを持ち、入居者にとってより良い生活が保持できるよう、支援しております		ご家族・本人の希望に添えるよう今後も努めます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、守秘義務の徹底によりプライバシーの確保に努めていおります</p>	<p>入居者に対して親近感もあり、名前にチャン付けをしてしまう事があるので、必ずサンを付けるよう指導しております</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者の意見を聞き、出来るだけ本人の希望に添えるよう支援しております</p>	<p>入居者の、皆さんの現状の状態を維持できるよう、残存能力を生かしながら意欲を持って生活できるよう、今後も努めます</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人一人のペースを大切にし、職員は見守り、日々出来る限り、自立支援を行っております</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で、ゆっくりとご自分達のペースで過ごして、いただけるよう環境作りにも努めております</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者が望む時に、美容室や床屋へ自由に行けるよう、職員が同伴します</p>	<p>今後も希望時には同伴します</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>全員とは行かないが、職員と一緒に買物へ行き、食べたい物等選べる限りの事は、手伝って頂いております</p>	<p>食事時は、各テーブルに必ず職員が付き、一緒に食べることで話も弾み、残す方はあまりありません。簡単な下準備や後片付けが、今後も継続できるよう努めます</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>タバコは禁煙でお願いしております、アルコールは敬老会のイベントで、自由に飲んでいただいております。外出時や面会時にもご本人・ご家族の希望がある方については、自由に飲んでいただいております</p>	<p>今後もご本人・ご家族の希望に添えるよう努めてまいります</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者一人一人の一般状態に合わせてできる限り、トイレでの排泄が出来るようトイレ誘導を心がけております		入居者によっては失禁・放尿も見られているが、尿意、便意がなくとも歩行できる限りは、今後も誘導しトイレでの排泄支援に努めます
57	入浴を楽しむことができる支援	入居者のペースに合わせ、ゆっくり入浴していただけるよう見守りして、出来ない所を手助けしております。入浴時間帯は決めております		本人専用シャンプー等使用している方もいます。湯船から出るのを嫌がり抵抗の強い方もいますが、見守り本人のタイミングを重視し職員が協力し入浴の介助をしております
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その方の生活ペースに合わせて無理なく生活していただいております。冷暖房の調節や寝具の調整も行っております		一般状態にも配慮しながら、各居室を巡視見守りしています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方の残存能力を最大限に生かせるよう、日々の関わりの中で方法を見つけ、話し合い実行しております		日々の中で現状の状態を維持しながら、その方の持っている能力を引き出す支援に努めます
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方においては、ご本人に預け買物等も職員同行の下していただいております。金銭管理の困難な方は、家族からお小遣いを預かり職員が管理しております		金銭管理が出来る方については、今後も維持して頂けるよう努めてまいります。金銭感覚が多少ある方については、職員が見守り買物等していただけるよう努めます
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や、入居者希望時には一緒に買物へ同伴しております		今後も希望時には、買物等外出の支援を継続していきます
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人希望時には、家族をお願いしておりますが、なかなか思うようには行かないところです		今後も本人の希望に添えるように、家族と相談していこうと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望をされる方については、いつでも自由に使用できることを伝えており、日常的に電話の使用もしております		今後も自由に連絡を取合っていたきたいと思っております
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	何時でも気軽に来ていただいております。家庭的に温かい環境作り、職員の服装や明るい対応にも心掛けております		家庭的で明るいホームの向上のため、職員一人一人が良いと思うことを取り入れ、環境作りに協力してくれています
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者皆さんを束縛することなく、自由に伸び伸びと生活していただけるよう配慮しております		身体拘束しないケアを今後も継続します
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外での日光浴やお茶時には開放するが、それ以外はオートロックで外部の人しか入れない、その他時間などにおいての開放はまだ出来ていないのが現状です		必要に応じて可能な方は、自由に出入りしていただいております。鍵をかけないケアの実践については、検討に努めてまいります
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者と共に生活するスペースで見守り、支援しながら安全面に留意しています		見守り支援していく中で、本人のプライバシーを傷つけないよう配慮しています
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要な物は置いてあるが入居者によっては、その物が危険な場合もあるので見守りその都度移動させたり、他に興味の示す物を提供しています		多方面の角度から、危険の防止に今後も努めてまいります
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎朝ミーティング時事故が起こらないよう、職員の気配り・目配りの徹底を行います		安全面への配慮、入居者への目配り・気配りを心掛けています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時や急変時の対応についてミーティングで話しています		緊急連絡先を貼り付け、連絡方法や対処方法の勉強等を定期的に行っていきます
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災通報装置の使用方法を定期的に確認しております。また消火器等設備の確認をしております		定期的に避難訓練の実施を消防署へ依頼し、指導を頂くようにします
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時に説明をすると共に一般状態について、ご家族への連絡と説明を行います。リスクについての近況を報告しています		何事においても直ぐに家族に連絡しています
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	月二回のバイタル確認、月一回の体重測定を実施しております。日々の一般状態の観察も見守りのもと行っています		日々の一般状態の観察、見守りと変化時にはその都度バイタル確認、主治医への連絡、報告をし指示を頂いております
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する際は入居者の名前を読み、入居者の前で再度名前の確認をし、必ず服薬確認をしております		誤薬には十分に注意し指導しております。今後も必ず服薬確認し誤薬のないよう努めます
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	午前・午後の体操、居室の掃除等によって日常的に身体を動かしてもらえよう支援しております。水分も多めに取るよう普段より声かけしています		薬の影響にて、便秘になりがちの方もいるので、多めの水分摂取を心掛けています
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア時、拒否がある場合やうがいが出来ない方もおりますが、口腔内の状態や清潔保持できるよう努めております		夕食後口腔ケア時には、義歯をお預かりしており翌朝お返ししております。また週一回のポリデント消毒も実施しております

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方のあった食事量や食事形態にしております。量に対してのチェックや記入はしていません		職員が各テーブルで一緒に食事をとる事で、量の確認や水分は十分に飲用していただいております。食事量などいつもと大きく変化がある時は報告し対応しております
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事やおやつ時の手洗い消毒の励行をしております		職員がインフルエンザ等を持ち込まないよう、疑わしき場合はマスクの使用をしております。家族の方へもその旨説明しており協力していただいております
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾の除菌を毎日行うと共に食材の管理、使用は問題を発生させないよう充分注意しております		調理した食材はその後の食事に流用しないよう管理しております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	以前は文字だけの看板だったが、絵を加えた案内板にし、親しみを持っていただけるよう工夫しました。		近所の方が畑で採れた野菜等を持ってきて下さり、気軽にお茶飲みをしていただいております。今後も気軽に立寄りしていただけるよう工夫に努めます
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただけるよう玄関付近に花を飾ったりイベントの写真を貼るなど明るいホーム作りに努めております。		花や写真を見ることでその時の気持ちが思い出され生き生きとされています。帰宅願望のあった方も外泊、外出先から帰るときには家に帰るとの事で当施設に帰ってきて下さいませ。今後も暖かいホーム作りに努めてまいります。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は入居者の皆さんがホール内で過ごされている事が多い。畳スペースにこたつを置き家庭にいるような感覚で過ごしていただけるよう環境作りにも配慮しております。		一人一人のペースも大事にしながら見守っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで入居者が使用していた家具や寝具をそのまま持ってきていただいて使用しております。カーテンは防災使用でない場合には説明し遠慮していただいております		慣れた環境作りの中でゆったりとして過ごして頂いております。居室に花を飾ることでご自分で世話をするようになった方もおります
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝居室の窓を開けて換気を行っています		入居者に合わせ過ごしやすい快適な生活が出来るよう、適度に冷暖房の温度調節を行っています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	午前・午後の体操、掃除を始めとし入居者の出来る範囲での手伝い等させて頂いております。手すりを使い足腰の筋力トレーニングを自主的に行っている方もおります		強制はせず自然に任せております
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	病気を理解し、その方にとっての良い支援を提供できるよう、入居者とゆっくり関わる時間・環境作りに努めております		病気であっても、その方なりの生活が充実したものとなるよう、声かけ・表情・動作の観察に努めています。見守り配慮を心掛けております
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先や裏庭に椅子を出して、外気浴を楽しみながらお茶を飲んだり歌ったりしております		今後も継続してまいります。将来的には、庭・ベランダに屋根をつけたり広いスペースを最大限に活用できるよう、話し合い検討しております

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

アットホームを目指して、職員一丸となって入居者の皆様に満足した日常生活が出来るよう支援しています。またより生き生きした目で健康で安全に毎日が暮らせるよう、勤務者一同日々支援方法を改善しております。